

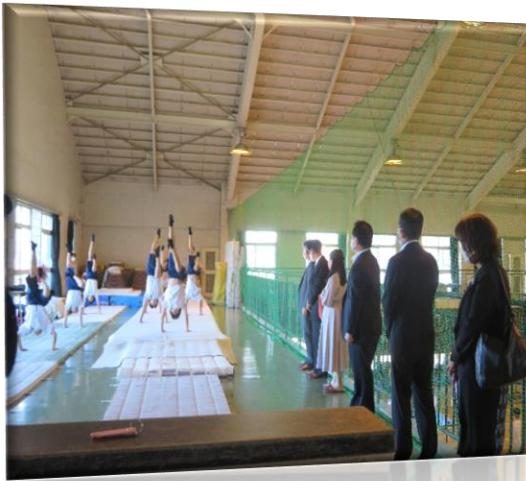
令和4年度 第2回県内学事視察



第2回学事視察では、小松島市小松島中学校の部活動を視察しました。

小松島市教育委員会では、令和4年度地域運動部活動推進事業（休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究）が進められています。

令和4年10月14日（金）小松島市小松島中学校



男子新体操部の様子



スポーツ健康部の様子



ソフトテニス部の様子

部活動指導員の熱心な指導や教職員のサポートのもと、生徒が集中し、スポーツを楽しむ姿が見られました。

小松島市教育委員会の取組

- ・ 休日の部活動の段階的な地域移行に向けて、地域人材の確保や運営の在り方などの課題に総合的に取り組み、研究成果の発信や課題の検証を行う
 - 学校部活動と地域スポーツ活動の役割分担の整理
 - 専門的な指導を担う地域人材の確保 など

さわやかトークキング

教育委員と小松島市教育委員会・教職員・部活動指導員との意見交換を実施しました。

テーマ 「部活動の地域移行に向けた運営体制について」

参加者：県教育委員会より 榊教育長・菊池委員・島委員・三木委員・河野委員・岡本委員
小松島市教育委員会より 小野寺教育長、沖学校課長、大田学校課主幹
小松島中学校より、藤本校長をはじめ、教職員6名、部活動指導員2名



休日の部活動の地域移行に向けた主な課題

- 指導者の確保
- 活動場所の確保
- 受益者負担の在り方
- 平日の学校部活動との棲み分け
(大会への参加資格、大会の運営主体、
事故等に対する責任の所在)

教育委員からの意見

・中学校の部活動は、学習では伝えきれないことを伝えてきたという背景がある。地域に移行してしまうことで難しくなる。一方、先生方のアンケートを見たとき、かなりの負担を感じている現状もある。

学校教育の中で、救えない子どもを作るのではなく、支えていけるシステムを作っていけるよう期待している。

・施設や指導者の人材確保、お金の面といった問題があり3年間で移行するのは大変なこと。指導者の取り合いなども起こってくるのではないかと。

中学校の皆さんは、工夫してトレーニングされているし、部活動をとおし、子どもたちが救われている様子が見られた。今後につながっていくと感じた。

・部活動が何のためにあるのか改めて考え直す必要がある。先生方の働き方改革と専門性のある方に教えてもらえることの両立を図っていければと感じる。

教育長より

課題はたくさんあるが、小松島中学校がされている部活動の地域移行については、1つの解であることは間違いない。それが、最適解であるかどうかは、これから検討していかなければならない。子どもたちにとって、部活動を通じた学びは確実にあるので、それをどう担保しながら持続可能にしていくか、検討が必要である。